



### ＊ CONTENTS ＊

- P1 ニュース、環境活動団体交流会報告
- P2 環境学習共催講座実施報告
- P3 環境活動団体紹介
- P4 環境学習推進センターからのお知らせ  
環境学習講座案内

## ☆水素自動車がやってきた！



水素は環境にやさしい次世代クリーンエネルギーとして注目されています。

山口県が導入した次世代低公害車である水素自動車「マツダ RX-8 ハイドロジェン RE」が環境学習推進センターへ配備されます。今後は、環境学習やエコドライブの呼びかけなどに活用して、地球温暖化対策としての取組を進めていきます。



### ◇「RX-8 ハイドロジェン RE」の特徴

- ①水素走行時の CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)排出量はゼロです。  
\* CO<sub>2</sub>や有害な排出ガスを出さず、代わりに水を排出します。
- ②水素とガソリンのどちらでも走行できます。  
\* 水素ステーションから遠く離れた場所へも安心して移動することができます。



○水素燃料は、周南市(岩谷瓦斯(株)南陽工場)で給燃します。  
水素自動車は工場(周南市)から発生する水素を利用しています。

## あなたの街を走るかも？！

## ☆環境活動団体交流会開催 ～平成18年11月21日(火)～

環境活動団体の方々の相互理解を促進するため、環境学習を行う上で直面する問題点について自由に意見を出し合い、解決のヒントを見いだすための意見交換をワークショップ形式で行いました。

ファシリテーターの平田隆之さん(ヒットクリエイティブオフィス)の進行の下、環境活動団体等47名の参加があり、活発な意見交換の場となりました。

#### <テーマ>

- ・団体活動を活性化するには
- ・地域住民の参加を促すためには



アイスブレイク(グループ分け)



ワーク1(課題の共有)



ワーク2(市民参加型事業を作る)

<参加者の声> 「多くの人と知り合えて良かった」「このような機会を多く作って欲しい。」  
「多くの活動団体の活動内容や、様々な意見が聞けて良かった」



# さまざまなイベントを実施しています

## ♪環境活動団体との環境学習共催講座

### マロニエの森の会

(会長 斉藤 亘 落葉広葉樹の植林を目的とし、平成8年に設立。  
ホームページ URL: <http://ww5.tiki.ne.jp/~shro/toppu.htm> )

#### 「公園の清掃と小鳥の巣箱かけ」～里山の保全～ 平成18年10月8日(日) 山口市木戸山公園にて

山にはきれいな水や空気をつくる落葉広葉樹が必要。  
この広葉樹を増やすため、木戸山公園の清掃や小鳥の巣箱かけを通じて、里山の四季(今回は紅葉)を感じ取り、山を守ることの大切さを体感しました。

参加者42名



<参加者の声>

「集まったごみの量に驚きました」

「かけた巣箱にシジュウカラが住みつくと聞いたので、山や自然を守ることの大切さを実感しました」



### NPO 法人水環境地域ネットワーク (WFEN)

(会長 岡谷政宏 河川、湖沼、海等の水環境に感謝し守り育て、より良い自然環境を次世代に継承していくためには何ができるのかをみんなで考え、行動することを目的とし、平成14年12月に設立。  
ホームページ URL: <http://www.wfen.jp/index.htm> )

#### 「外来植物観察会」 平成18年10月29日(日) 周南市西緑地公園にて 参加者35名

西緑地公園に生育する植物(在来種・外来種)の観察を通して、在来種、外来種とどのように関わっていくかを考えるとともに、地域の自然を守ることの大切さを実感しました。

<参加者の声>

「外来種とはどのようなものか、よく分かりました」

「身近な野草の中に外来種が多いことに驚きました」

「在来種の保護、外来種との共存を考えておかなければいけないと思いました」



### 竹林ボランティア防府

(会長 福田英治 緑あふれる大地や水清い川など自然を守るため、地域の整備されていない竹林の適正管理活動を通じ県民の竹林整備への理解醸成を図ることを目的とし、平成16年2月に設立。)

#### 「竹林整備体験型実践講座」 平成18年11月26日(日) 防府市佐野(旧山陽道佐野峠)にて 参加者20名

雑木林に進入した竹の伐採作業を通じて、荒廃した放置竹林を整備し、計画的に美しい竹林にすることが広葉樹林の復活につながり、里山の環境保全になることを体感しました。

<参加者の声>

「竹林整備の大切さがよく分かりました」

「作業がかなり重労働で過酷でしたが、今後も竹林整備作業に参加したいと思います」





# つなげるつながる環境活動団体の輪

## ♪環境活動団体さんをご紹介します！

山口県内には、環境問題・環境学習について、様々な取り組み・活動を行っている方々がたくさんいらっしゃいます。現在、環境学習推進センターに登録されている環境活動団体(NPO、民間団体)や環境学習施設は、団体が90、学習施設が58、市町の学習施設等が22あります。

今回は、「竹林ボランティア防府」(防府市)をご紹介します。

## ☆竹林ボランティア防府 会長の福田英治さんにインタビューをしました♪

### ○まずは、会の紹介をお願いします。

平成15年度に県農林事務所が主催した「竹林ボランティア養成研修」に参加し、緑あふれる大地や水清い川などの自然を守るため、荒廃した放置竹林を整備・管理していくことの必要性に気づきました。その時の修了生の有志が集まり、竹林の整備・管理活動を通じて、県民の竹林整備への理解の醸成を図ることを目的とし、平成16年2月に会を設立しました。

会員は現在24名です。実は、平成18年11月の講座に参加した方がこのたび4名新規入会されました。



### ○どんな活動をしているのですか？

活動は大きく分けて3つです。1つ目は、モデル林での活動。竹の子の採取や竹材の利用竹林として、日本一美しい竹林づくりを目指し整備中です。「やまぐち森林作り県民税」を活用した「竹繁茂防止緊急対策事業」にもボランティア団体として、積極的に参加しています。2つ目は、会の大事な活動として、放置され、整備されていない竹林所有者・管理者からの要請を受けた竹林の整備活動です。発足以来、14カ所約30,000㎡を整備してきました。3つ目は、地域の里山の環境保全活動を積極的に推進している団体等との交流や情報交換を行い、知識や技術の向上に努めています。昨年は、小学生を対象とした親子竹細工教室やミニ門松作り教室を開催したり、11月に開催された「国民文化祭」ではバンブーオーケストラの演奏に使用された竹楽器作りに参加しました。ちなみに、伐竹した竹の大半は竹炭業者へ引き取ってもらい、残りは竹細工教室の材料として使い、再利用に努めています。



### ○活動を続けるために必要なことは何ですか？

活動をする場所(竹林)が必要です。維持管理をまかされているモデル林以外にも、県内には未整備の竹林がたくさんあります。我々がその竹林に勝手に入り、整備することはできません。しかし実際に隣近所の迷惑になっていたり、また、通学路沿線にある場合には、竹林の繁茂により、犯罪場所になりかねません。竹林が子どもたちにとって安全な場所で、また遊び場にもなるようにするために整備は必要だと思います。ですから、まず竹林整備の必要性を竹林の所有者だけでなく、一般の方に知ってもらうこと、気づいてもらうことが必要です。

### ○今後、どのような活動を行っていきたいですか？

昨年の11月に環境学習推進センターと共催で行った環境学習講座のように、一般の方に理解していただく機会を今後も積極的に持ちたいと思います。また、竹細工教室などの際も、ただ作るだけに終わらず、竹林整備・保全などについて少しでも伝えることができればと思っています。

### ○ありがとうございました！何か伝えたいことはありますか？

整備する場所が大変広いこともあり人手がもっと必要です。会の趣旨に賛同いただき、元気にご参加いただける方をお待ちしております！



ミニ情報

## バイオマスエネルギーって知ってますか？

バイオマスエネルギーとは、バイオマス(木材、植物、動物の死骸、プランクトンなどの有機物)を利用した循環型エネルギーで、石油や石炭などの化石資源に対して、「**生きた燃料**」とも呼ばれます。植物は、燃やすとCO<sub>2</sub>を発生しますが、成長過程で光合成によりCO<sub>2</sub>を吸収しており、実質的に大気中のCO<sub>2</sub>を増加させません。このため、京都議定書では植物などから作った燃料を使う場合、二酸化炭素の排出量としてカウントされません。バイオマスエネルギーは、地球にやさしいクリーンなエネルギーなのです。



# 環境学習推進センターからのお知らせ

## 〇お待ちしております！

県内で活動されている団体の皆様の、活動状況写真や会報誌などをご提供ください。  
団体の各種イベント情報などもお寄せ下さい。当ホームページに随時掲載いたします。

## 〇環境学習の講師を派遣します！《環境学習指導者バンク派遣制度》

自主的な勉強会や学校の総合学習、公民館・児童館・PTA 活動などで活用されています。  
今年度は124回の学習会で利用いただき、8980人の受講がありました。(H18.12.31 現在)  
\* 143人の登録指導者が環境のさまざまな分野の講演や体験学習を行います。  
\* 講師の謝金と旅費は県から支払われます。  
実施内容のご相談にも応じます。お気軽にお問い合わせください。



## 〇環境学習指導者の募集をしています！

山口県では、環境に関する学習会の指導者(環境学習指導者)を募集しています。  
募集期間は、平成19年2月28日(水)までです。  
応募方法など、詳しくはホームページをご覧ください。

→ [http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/manabu/adviser\\_and\\_partner.htm](http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/manabu/adviser_and_partner.htm)

## 講座のご案内

### 2月の共催講座案内

- 2/10(土)\* 秋吉台山焼き火道切り体験学習講座  
(れっどぼーいず)
- 2/11(日)\* 身近な野鳥観察会  
(日本野鳥の会 山口県支部)
- 2/18(日) ビオトープシンポジウム  
(水環境地域ネットワーク)
- 2/28(水) 青い地球を守る“もったいない”講座  
①私の食べ方地球を変えるエコクッキング  
②「和の文化」に学ぶ“もったいない”解決法  
(山口市消費生活研究会)
- お問い合わせは環境学習推進センターまで。  
(注)\* 印は、募集を締め切りました。

### 「化石の採集と観察会」共催講座

日 時 : 平成19年3月18日(日) 10:00~15:00  
集合場所 : 美祢市歴史民俗資料館前  
参加費 : 無料  
定 員 : 50人  
主 催 : 山口県自然観察指導員協議会・第3支部  
自然観察友の会  
後援・協賛団体 : 美祢市歴史民俗資料館  
(注)定員に達したので、募集を締め切りました。  
<お問い合わせ先>  
山口県自然観察指導員協議会・第3支部  
自然観察友の会 代表世話人 赤間 正  
E-mail : akama@h.do-up.com  
TEL (携帯) : 090-5375-3571

### 「森から学ぶクラフト教室」共催講座

日 時 : 平成19年3月25日(日) 9:00~12:00  
集合場所 : 秋吉台エコ・ミュージアム  
参加費 : 無料  
定 員 : 20人  
主 催 : 秋吉台エコ倶楽部  
後援・協賛団体 : 秋吉台エコ・ミュージアム

<お問い合わせ先>

秋吉台エコ・ミュージアム  
担当 : 田原 義寛

TEL : 08396-2-2622 FAX : 08396-2-2622

### 「インタープリテーション研修」

日 時 : 平成19年3月7日(水)・8日(木)  
集合場所 : 山口県セミナーパーク  
参加費 : 無料(宿泊費・食事代は自己負担)  
定 員 : 30人  
主 催 : (財)山口県ひとづくり財団

<お問い合わせ先>

環境学習推進センター

担当 : 徳永 浩之

E-mail : kankyo.c@hito21.jp

TEL : 083-987-1110 FAX : 083-987-1720

### <編集後記>

水素自動車セミナーパークにやってきます。スタッフが“あなたの街”に出かける際、水素自動車に乗って行きますので、遠慮なく見てください。温かいご声援や写真撮影には喜んで応じます。  
今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。(河野・伊藤・徳永・高田)

発行元 (財)山口県ひとづくり財団 県民学習部 環境学習推進センター  
〒754-0893 山口市秋穂二島1062(山口県セミナーパーク内)  
TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720  
URL <http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/>